



# 教会報

## ぎんやまち

教会報第 26 号

2019. 3. 3 発行

長崎銀屋町教会

〒850-0854 長崎市銀屋町 1-5

Tel 095-823-0667

Fax 095-893-8662 (3/13 より)

《巻頭言》

## ハクモクレン

竹内 款一

3月を迎え様々な花を見ることが出来ます。先日「白木蓮(ハクモクレン)」の花が咲いているのを見つけました。コブシ科の植物ですが、よくコブシと呼んでいる花とは少し違うようです。その白い花はなかなか大きく、冬を越えて、高らかに「春がきたよ」と告げているようでもあります。そして、ちゃんと木の下に行くと、花を見つめるとイイ香りがします。

ハクモクレンの花言葉は、「気高さ」「慈悲」「自然な愛情」等々、いろいろあるようです。

イギリス王宮植物園園長だったジョセフ・ハンスは、この白い花の咲く木を中国からもち入れた時、「枝先にユリの花がついている木」と言ったそうです。

ユリは、日本ではキリストを象徴する花でもありますね。

いろいろと考え思いめぐらしていると、ハクモクレンの花を見てみると、キリストの花のようにも見えてくる気がします。今年、3月6日(水)から「受難節」。

「レント」とも言います。キリストが十字架への道を歩まれたことを覚える時期です。そして、4月12日(日)が、今年の「イースター」(復活日)です。

主イエスの受難と復活について、それを私は「気高いもの」と思うし、「慈悲」とも思います。そして、神様と主イエスからの「愛情」以外のなにものでもないと思うのです。

「主イエスが受難し、十字架を背負ったのは、私たちの罪のゆえ」と言われます。それは、その通りでしょう。しかしながら、もう一つ大事なことがあります。なぜ人の罪を担い赦し、愛したのでしょうか？ それは、その人が「真実に新たな歩みへと進み出て欲しい」という神様と主イエスの希望があるからではないでしょうか。それは即ち、神様と主イエスの愛のゆえです。

そして、「あなたたちは必ず、この愛を受け取って、進み行くであろう」という、神様と主イエスの信じる心がともなっているのです。それは実に「気高い」ものであり、「慈悲」に富んでおり、神様と主イエスにとっては「自然な愛情」なのだ、ハクモクレンを身ながら思いました。

レントとイースターを迎えます。この神様と主イエスの心を身に受けて歩みましょう。



## わたしのげんばから

今回のこのコーナーは、島田弘子さんです。文章を書いて寄稿するのはむずかしいということで、『教会報』編集委員でインタビューをして、まとめました。



島田弘子さんは、長崎銀屋町教会に来られるようになって、6年経ちます。

お連れ合いの島田和彦さんと共に礼拝に出席されたことが想い

起されます。けれども、2014年1月19日に島田和彦さんは、天に召されました。ご一緒に洗礼を受ける予定でした。それから5年、島田弘子さんは当教会の教会員として、今、歩んでおられます。

和彦さんは、料理が上手で、みんなでワイワイと楽しく過ごすのが大好きでした。今、弘子さんは、息子さん夫婦とご自分の家事や料理をされており、ご家族を支えながらの毎日です。一生懸命、料理をつくっておられます。それが弘子さんの毎日を創るとのことです。

時には、息子さんのお連れ合いと共にお酒を酌み交わすこともあるようです。和彦さんが、皆との“まじわり”を楽しんでおられたことも、しのばれますね。

弘子さんは、コンサートに行くのが大好きです。よく和彦さんとコンサートに行っていました。そして、コンサートの帰りには、赤提灯のともるところで、仲良く過ごしたそうです。

弘子さんは、長崎生まれです。戦時中

は島原の方に疎開しておられましたが、戦後すぐに長崎に戻られました。弘子さんのお父様も長崎に原爆が落とされてすぐ、長崎入りしてましたので、いわゆる入市被爆をされておられます。けれども、ご家族の皆さんは、ABCに逐一調べられるのがとても嫌で、長崎入りした日付をわざわざ後々の日付にしたそうです。

この時のお気持ちは、それを経験した人でなければ、言い得ないものだと思います。けれども、その気持ちを受け止めたいと思います。お父様は、原爆の影響があり、戦後しばらくして、白血病で天に召されました。弘子さんが小学校6年生の時でした。平安を祈りたいと思います。

弘子さんは、家族の中ではご長女です。本当は「もっと勉強したい！」という想いがありましたが、家族を支えるために高校を卒業されたら、すぐに働きに出ました。その働きもまた尊いものでした。

そして、28才のときに和彦さんと出会います。そして、しばらくしてお二人は一緒になられました。二人のお子さんを授かり、育て上げました。息子さんは同じ長与の家に。娘さんは名古屋におられます。島田さんの兄妹は仲が良く、みんなが集まると、やっぱりワイワイたのしく、交わりを共にされるそうです。

確かにそうだと思います。島田弘子さんが、島田壽夫さん、都さんと共にそろると、とってもイイ感じがします。今年の1月には、タイからも兄妹ご家族がいらして礼拝に出ておられましたね。

弘子さんは教会に来ると、姪さんと一緒に浜屋で食事をするそうです。いろいろとお話するそうです。

以上、様々な尊い日々を送っておられる島田弘子さんです。これからも、神さまに守られて、日々を送ります。また、いろいろなお話を聞かせてくださいね。

# 受 洗

おめでとうございます!

安川 徹 さんが、2018年12月23日のクリスマスに洗礼を受けられました。今号で寄稿くださいました。これから、どうぞよろしく願いいたします。

私の生家は福岡の繁華街のど真ん中にあった洋裁学校兼住居だった。祖母が院長、母がその生徒、父はその洋裁学校の真横で電気関係の会社を経営していた。おぼろげな記憶では、その学校のクリスマスで蠟燭を持って讃美歌を歌っていたのを覚えている。祖母がハワイから帰ってきて創立した学校だったので、今考えればプロテスタント系ではなかったかと思う。そのうち、一等地にあったその場所が立ち退きにあい、洋裁学校は大名から愛宕への移転してしまい、キリスト教的な色合いは影をひそめてしまった。

私は、大学を卒業後なぜかコンピュータ会社に就職し、そこで知り合った人と会社を設立することになる。ワーカホリックと化し徹夜続きの暴飲暴食の涯、30才にして立派な糖尿病患者ができあがってしまった。

その後、長崎に職を得て移住するも、新しいと誤に対するストレスのためか。飲酒はますますひどくなり、ついに精神科でアルコール依存症とのありがたい病名をいただいた。しかし、病名をいただいたところで飲酒が止まるはずもなく、どうしようもなくなったところで、当時通っていた自助グループが場所を借りていた長崎ダルクに相談し、通所することとなった。

当時、自助グループのミーティングは



ほとんど夜の時間帯に行われていて、家庭を持っている人にも通いやすい場所が欲しいという要望があり、大学の宗教主任であった井上大衛氏に相談した所、ご紹介いただ

いたのが銀屋町教会であった。話を通していただいて、当時の牧師だった原和人氏におそるおそる伺った処、場所の提供を快諾いただいて、現在まで15年以上続けることができている。

毎週ミーティングを続ける中で、どうしても神（自分を越えた大きな力）という概念が自分を変えていくのに必要であるということに気付かされ、またいくつかの出来事によって、有神論へと考えが変化していった。また、信仰というものがいったいどういったものであるのか興味半分、その道のプロフェッショナルが集まっているであろう日曜礼拝に顔を出したのが運の尽き。なぜか毎週こちらも通うようになってしまったのである。

物事が進むときは、面白いようにすべてのピースがはまりスムーズに運んでいくことがある。10年間の間に、洗礼の話も何回かあったように思うが、今回たまたま竹内牧師と立ち話をしたことがきっかけで、12月の忙しい時期にも関わらず、見事なまでにスムーズに話が運んでしまい、クリスマスの日を迎えることになってしまったのである。

これもまた、神の導きであろうと覚悟を決めて、礼拝に通う日々である。

# 全体懇談会 メモ

1月27日礼拝後、今年度第3回体懇談会が行われました。出されたことを記します。全てが網羅されている訳ではありませんが、記録に残っているものです。

## 【テーマ】

- ・今年度の営みをふり返し、  
次年度の営みに備える。
- ・その他 要望や希望等

## 《Aグループ》

8名の参加

「今年度を振り返って」

### #1 教会の行事

- 賛美礼拝 よかった。もし指名されても朗読はできる。
- 礼拝当番 すぐに順番が来るが仕方がない。3人は必要。これからもっと少なくなってくる（健康上の理由など）できるだけ協力はしたい。
- 献金のお祈りについて お祈りの例文があると良い。献金の祈りに変えて献金の讃美歌でもいいと思う。今の例文は前の牧師が作られたので、新たに竹内牧師が作られてもいいと思う。
- バザーについて 毎年もう無理と思うが、やはり近づいてくると少しでも高く収益を上げたいと思う。又それがエネルギーになる。買いに来る人にバザーの趣旨を分かってもらえるとありがたい。バザーは支援につながるためのもの。

### #2 そのほか

- 讃美歌21について 昔の讃美歌のほうが好きだが、若い人には意味が難しいようである。臨機応変に歌っていききたい。
- シオンの集い お世話係の若返りをはかりたいが、若い人は忙しく時間の余裕がないのかもしれない。シオンの集い総会で話したい。
- 若い人が教会に来ない。今の就労状況を考えると、休暇もままならない。その事も考慮したい。
- 礼拝堂の座布団を購入したい。固くて長く座るのは大変。
- 餅つきは無くなったが楽しかった。
- 教会員名簿が古く、新しくする必要がある。

## 《Bグループ》

このグループは6名の参加と少なく、最近ご家族を天に送られた方、現在介護中の方などがおられ、話題は介護や終活について等が多かった。

- 現代は、バリアフリー、高齢化などに関心が高まり、介護保険制度導入につながったことは喜ばしい。
- 教会の人も高齢化し、認知症の人も増える。教会としての対応をおもんばかる。
- これからは、介護する人への介護が必要となる。
- 介護をしているが、教会に来るとホッと息が付けて気持ちが安らいだ。それが、受洗につながった。
- 可能な限り夫婦で助け合って最後まで頑張りたいと思うが、最近思うのは「こどもは財産」だと。心の支えになっている。

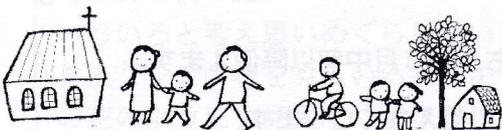
## 《Cグループ》

9名の参加

- 母の側にいないといけない。デイケアは週3回。牧師が訪問してくれた。
- 教会員の消息をもっと共有したい。誕生日の対応もしたい。
- 将来、車が使えなくなったら教会へ行くかどうか。
- 年齢を意識するようになった。礼拝を守るのは、健康につながる人が多い。
- 受洗により毎週礼拝に行くのが習慣になった。
- 新しい人が来て欲しい。
- 耳が遠くなった。
- 壮年部をつくり、話し合いたい。
- 聖句が助けてくれた。「明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の労苦は、その日だけで充分である」。今日を精いっぱい生きる。

## #次年度の営みについて

- 若い人が求めているものを教会として導いているか。
- 生活に根差す信仰を。
- 外に向けて発信したい。
- クリスマス・キャロルをしたい。
- 動けなくなる教会員のことを考えて、家庭集会を行うのも良い。
- 教会が楽しいので、このままであって欲しい。
- 送付する週報に一筆箋でメッセージを。
- 特別集会をして、新しい人を呼び入れたい。



## クリスマス

### 写真でふりかえる

安川さん  
受洗おめでとうございます！



礼拝後は、恒例の記念撮影  
いろんな方々と、礼拝を守りました。



礼拝の後は、もちよりの  
クリスマス愛餐会。  
美味しかったですね！

楽しいゲームと司会  
ありがとうございました





やっほー  
スーパージェントでショーー



今年も活水学院の高校生のみなさんが、  
チャイムの演奏をしてくださいました。  
クリスマス・ソングもいいし。  
ベッドモドラーのRoseも良かったなあ。



即興だけども、おもしろい  
いや  
即興だから、おもしろい



いろんなひとびと　いろんなキャラクター　いろんなタラント（味）があるのは、すばらしい！



12月24日にはクリスマス燭光礼拝。いろんな方々、  
たくさんの方々と礼拝を守りました。  
ろうそくを手に写真はむずかしいですので、明るいうちに。  
聖歌隊のみなさん、ありがとうございました。

◇◇ 連絡 !! ◇◇

教会のファックス番号が、095-893-8662 に変わります。  
※〈3月13日から〉 教会にファックスを送る時は、ご注意ください。  
教会E-mailも変わります。

[ginyamachi-church@dream.jp](mailto:ginyamachi-church@dream.jp) こちらも3月中旬以降使えます。

従来のメールアドレスは3月末で使えなくなります。  
ホームページも変わりますが、追ってお伝えします。